

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもデイサービス ひびキッズ・スマイル		
○保護者評価実施期間	令和 8年2月19日		～ 令和 8年3月21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20名	(回答者数) 20名
○従業者評価実施期間	令和 8年2月9日		～ 令和 8年2月21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	令和 8年3月21日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	運動遊具が充実しており、お子さま一人ひとりのスペースが十分に保たれています。 学習室が確保されており、個別の机・椅子が準備されています。また、カームダウン室が2部屋完備されています。	知育玩具やおもちゃを置く部屋が独立して確保されており、お子さまが使いたいおもちゃをカードを用いてスタッフに伝えて遊ぶというシステムを構築しています。そうすることで、共有スペースがおもちゃで散乱することなく使用することができています。	本を増やしてほしいというお子さまからの要望に対して、定期的に本を増書しつつ、お子さまが本を見やすくしたり取り出しやすいように、本の種類やジャンル分けをすることで、気持ち良く本に触れることができるように配慮しています。また、希望者には本の貸し出しができるように準備を進めています。
2	お子さまのニーズに寄り添い、曜日によって、特徴のある活動の提供をすることで、お子さまが積極的に活動に取り組めるように配慮しています。	指先の使い方が不得手なお子さまの機能向上の取り組みとして、療育活動の中で紐通しやシール貼りなどの個々に応じた課題の設定をし、結果として1つの作品となるようにすることで、達成感や集中力を身につけられるようになっていきます。また、運動活動においては、月間プログラムを立てクリア目標を設定することで、一人ひとりが意識して継続的に取り組んでいます。	活動提供日に利用されていないお子さまにも、指先の機能訓練に取り組めるように、臨機応変に支援しています。また、運動活動においては、年間プログラムを立てて、一年を通じた成長が見込まれるようにする為の取り組みを考えています。
3	利用頂いているお子さまが、楽しく過ごしているのご家族からの評価を頂いており、ありがたく感謝いたしております。今後も更に利用していただくお子さまが、色々な活動や日々の時間も、楽しんで過ごして頂けるように工夫してまいります。	おやつ時間を更に楽しいものにするために、より具体的な内容のアンケートを実施し、その結果を基に各自が好きなおやつが定期的に提供されることで、これまで以上に楽しんでおやつ時間も過ごせるように取り組んでいます。	週に1度は、おやつをセレクトする形で提供することで、選択の機会を増やし、自分の意思の表出が常態化し、ひいては日常的な意思決定支援へと繋がっていくように支援しています。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	個別のケースにおける相談には応じていたものの、ペアレントトレーニングに対する支援や研修会など、それ以上の情報提供はできていませんでした。	個別のケースにおける相談には応じていたものの、ペアレントトレーニングに対する支援や情報の提供においては十分とは言えない状況でした。	今後はスタッフが受けた研修内容のご家族へのフィードバックや、研修案内の提供等を通じて、ご家族の学びの機会へと繋がるようにしてまいります。
2	兄弟児さんや保護者様同士の活動においては、十分とは言えず、保護者様から情報交換や交流をしたいとの要望がありました。	個人的な見学等の要望には応じていましたが、全体へのお見学案内等の周知が十分にはできていませんでした。	今後においては、事業所の見学会やイベント参加型の行事を設ける等、ご家族への事業所の理解や、ご家族同士の交流の機会を提供できるようにします。
3	各種マニュアルは作成されているものの、保護者への周知が十分ではありませんでした。また、発生訓練等は実施していますが、その日に利用されていないご家族への報告が十分には出来ていませんでした。	保護者様への各種マニュアルの説明が十分ではありませんでした。	今後においては、定期的に各種マニュアルや発生訓練の実施等の告知を、定期的に事業所が発行する通信等を通じて発信していくように努めます。